

第4回 実戦問題

解答・配点 (100点満点)

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄	問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄
第1問 (6)	1	1	④	2		第6問 (12)	1	24	①	3	
	2	2	③	2			2	25	①	3*	
	3	3	②	2				26	③		
小計								27	⑤		
								28	④		
第2問 (12)	1	4	③	3		3	29-30	①-⑤	3*		
	2	5	①	3		4	31	④	3		
	3	6	②	3		小計					
	4	7	②	3		第7問 (16)	1	32	④	3	
小計							2	33	⑤	3	
第3問 (9)	1	8	②	3*			3	34	④	3	
		9	④				4	35-36	①-②	4*	
		10	①				5	37	①	3	
		11	③			小計					
	2	12	①	3		第8問 (17)	1	38	③	3	
3	13	③	3		2		39	②	3		
小計					3		40-41	①-④	4*		
第4問 (12)	1	14	②	3				42		④	
	2	15	④	3				4	43	③	3
	3	16	①	3			5	44	③	4	
	4	17	④	3		小計					
小計					合計						
第5問 (16)	1	18	②	3		(注)	1 *は、全部正解の場合のみ点を与える。				
	2	19	④	3			2 - (ハイフン) でつながれた正解は、順序を問わない。				
	3	20	③	3							
	5	22	②	2							
		23	⑥	2							
小計											

第1問

解答

問1 - ④ 問2 - ③ 問3 - ② (各2点)

出典 Original Material

全訳 あなたは近所にオープンしたばかりのフィットネスクラブに入会することを考えています。あなたはそこのウェブサイトを訪ねます。

レクサス・フィットネス

レクサス・フィットネスは柔軟なプラン、手ごろな料金、そして最新の設備を提供します。我々の単純な目標は現代的で心地よい環境を提供することですが、その環境は、あなたの健康やフィットネスに関するあらゆる目標を達成するのを手助けするように特別に設計されています。あなたはトレーニングを新たな段階まで引き上げたいと思わずにはいられないでしょう。

全ての新しい会員はレクサス・フィットネスのロゴが入った特別なタオルがもらえます。さらに、4月末までに登録すれば、抽選でオリジナルのジムバッグが当たるチャンスがあります。その上、特別企画として、4月末までにプラチナ会員になると、オリジナルTシャツがもらえます！是非このすばらしい機会を逃さずに、我々のクラブに入会して目標を達成してください。

下記の会員オプションから選んでください。

施設を使える日時 そして含まれているもの(✓)	会員オプション		
	デイトム (60ドル/月)	ゴールド (80ドル/月)	プラチナ (100ドル/月)
月曜日から金曜日, 午前9:00～午後5:00	✓		✓
月曜日から金曜日, 午後5:00～		✓	✓
土曜日と日曜日 (終日)	✓	✓	✓
無料駐車場	✓	✓	✓
グループエクササイズ・クラス		✓	✓
プールとスパ		✓	✓
水着の無料レンタル			✓
ジムシューズの無料レンタル			✓
個人トレーニング・プログラム			✓

☆入会金として50ドルいただきます。
 ☆4月20日より前にご入会いただいた場合、4月の会費を支払う必要はありません。
 ☆会費は毎月初めにお支払いいただきます。
 デイトム、ゴールド、プラチナのどの会員であっても、レクサス・フィットネスクラブの会員であることにご満足いただけるでしょう。さらに情報を得るために、または入会するためには、ここをクリックしてください。

設問解説

問1 1 正解④
 「全ての新しい会員は、1がもらえるだろう」

- ① フィットネス・バッグとタオル
- ② 必要なジム用品一式
- ③ タオルとTシャツ
- ④ 最低1つの実用的なプレゼント

正解は④。第2段落第1文(All new members ...)に、全ての新しい会員はタオルがもらえることあり、第2文(In addition, if ...)には、4月末までに登録すれば抽選でバッグが当たるとあり、さらに第3文(Plus, as a ...)には、4月末までにプラチナ会員になった場合にTシャツがもらえると述べられている。つまり、新しい会員は最低1つは実用的なプレゼントがもらえるので、④が正解。

バッグやTシャツは全ての新会員がもらえるわけではないので、①と③は誤り。また、ジム用品を「一式」もらえるわけではないので、②も誤り。

問2 2 正解③
 「ゴールド会員になったら、2ことができるだろう」

- ① 火曜日の午前にグループエクササイズのクラスに参加する
- ② 無料でジムの履き物を借りる
- ③ 土曜日の午前にプールで泳ぐ
- ④ 日曜日にマンツーマン・レッスンを受ける

正解は③。表のゴールド会員の欄を見ると、土曜日に終日利用可能で、かつ、プールも利用可能であるとわかるので、③が正解。

ゴールド会員は火曜日は午後5時以降しか利用できないので、①は誤り。また、ジムシューズの無料レンタルや個人トレーニングのプログラムはゴールド会員の特典として含まれていないので、②と④も誤り。

問3 3 正解②
 「もし4月15日にデイトム会員になったら、12月の終わりまでに合計3支払うことになるだろう」

- ① 480ドル
- ② 530ドル
- ③ 540ドル
- ④ 590ドル

正解は②。表の後に続く注意書きに、入会金として50ドル必要であること、4月20日までに入会すれば4月の会費が無料になること、会費は毎月初めに支払うことが述べられている。以上のことから、4月15日に入会して12月末までデイトム会員として在籍した場合、入会時の50ドルに加え、5月から12月までの月初めに60ドルずつ8ヵ月分を支払うことがわかる。したがって、合計530ドルとなり、②が正解。

主な語句・表現

[本文]

- ◇ flexible ㊦ 「柔軟な」
- ◇ rate ㊦ 「料金」
- ◇ equipment ㊦ 「設備」
- ◇ specifically ㊦ 「特に；具体的に」
- ◇ motivate O to - 「Oに-する気を起こさせる」
- ◇ elevate ㊦ 「…を高める」
- ◇ enroll ㊦ 「登録する；入会する」
- ◇ affordable ㊦ 「手ごろな；無理なく買える」
- ◇ brand new 「最新の」
- ◇ welcoming ㊦ 「心地よい；快適な」
- ◇ can't help but - 「-せずにはいられない」
- ◇ workout ㊦ 「トレーニング；運動」
- ◇ lottery ㊦ 「抽選；くじ」

- ◇ plus ㊦「その上；さらに」
- ◇ facility ㊦「施設」
- ◇ charge ㊦「…を請求する」

- ◇ promotion ㊦「販売促進；キャンペーン」
- ◇ bathing suit ㊦「水着」
- ◇ enrollment ㊦「入会；登録」

[設問文・選択肢]

- ◇ practical ㊦「実用的な」
- ◇ for free ㊦「無料で」

- ◇ footwear ㊦「履き物」
- ◇ one-on-one ㊦「1対1の；マンツーマンの」

第2問

解答

問1-㉓ 問2-㉑ 問3-㉒ 問4-㉒ (各3点)

出典 Original Material

全訳

休暇で沖縄県の宮古島に行く前に、あなたはホテルを決める必要があるので、あるホテルについての案内と、そのホテルに関する宿泊客のコメントを読んでいます。

イムギャー

ロケーション：

イムギャーは宮古島にあり、宮古空港から車で20分、美しいホテル専用ビーチを備えております。近隣の名所としては平良橋や狩俣神社がございますし、下地アメリカンビレッジやシギラ植物園など人気の観光スポットもあります。スキューバダイビング、シュノーケリング、水上スキーもすぐ近くでできますので、海のアクティビティも数多くお楽しみいただけます。

ホテル詳細：

素敵なビーチで1日楽しんで過ごし戻られたら、イムギャー内にある5つのレストランのどこかでディナーをお楽しみください。全180室の客室は防音で、無料のWi-Fiやルームサービスも特色となっております。心ばかりのおもてなしとして、衛星チャンネルが備わった液晶テレビがございます。冷蔵庫やコーヒーメーカーなどの備品もご利用できます。

ホテル設備：

- 無料の空港送迎バス
- 土産物店／雑貨店
- ランドリー設備
- 駐車場（1泊につき1,000円）
- 季節営業の屋外プール
- 24時間対応のフロント
- 18ホールのゴルフ場
- インターネット
- エレベーター
- スパサービス
- テニスコート

客室内設備：

- ドライヤー
- タオル
- 携帯電話の充電器
- バスタブ・シャワー別
- 無料のペットボトルウォーター

料金（朝食込）：

- スタンダードダブル／ツイン・ガーデンビュー 1泊 15,000円
- スタンダードダブル／ツイン・オーシャンビュー 1泊 21,000円
- スーペリアダブル／ツイン・オーシャンビュー 1泊 33,000円
- デラックスダブル／ツイン・オーシャンビュー 1泊 42,000円

イギリスからシンシアより

宮古島に来るのでしたら、ここに泊まるのが一番です。美しい白砂のビーチと感動的な青い海。ホテルの部屋もとてもきれいで快適です。プールとビーチはライフガードがいるので、子どもにはよいです。バイキング形式の朝食付きで、料理もたくさんありおいしかったです。唯一のマイナス面は宮古島の蒸し暑さだけでした。

設問解説

問1 正解③

「このホテルは 位置している」

- ① ゴルフ場から遠く離れたところに
- ② 有名な遊園地の前に
- ③ 有名な橋の近くに
- ④ 空港から徒歩圏内に

正解は③。ロケーションに関する情報には「平良橋が近隣の名所」と書かれている。ホテル設備の項目に「18ホールのゴルフ場」とあり、ゴルフ場はホテルの敷地内にあることから、①は誤り。②は本文に記載がない。また、空港から「車で20分」とあるので、④は誤り。

問2 正解①

「海が見える部屋に3泊滞在したいのなら、あなたは 払うだろう」

- ① 最低でも63,000円
- ② 最高で99,000円
- ③ 42,000円より少なく
- ④ わずか30,000円

正解は①。料金に関する記述に注目すると、「海が見える部屋」の最低金額は「1泊21,000円」のスタンダードダブル/ツイン・オーシャンビューであるから、3泊となると21,000円×3泊=63,000円である。したがって、それよりも低い金額である③と④は誤り。また、「海が見える部屋」の最高金額となる「1泊42,000円」のデラックスダブル/ツイン・オーシャンビューに泊まると、3泊で42,000円×3泊=126,000円なので、②のように「最高で99,000円」と考える根拠もない。

問3 正解②

「このホテルに関して述べられた意見の1つは というのである」

- ① 食べ物やお土産が宿泊客にすぐに手に入る
- ② 子どもがビーチで遊ぶのは安全である
- ③ 宿泊客の大半が宿泊に満足している
- ④ 宿泊客が近くの海にスキューバダイビングをしに行くことができる

正解は②。レビューの中に「プールとビーチはライフガードがいるので、子どもにはよい」という意見が載せられている。

①と④に関する記述もホテルの情報にあるが、どちらも事実なので誤り。また、レビューにある「5段階評価で平均4.8」という数値は、宿泊客の大部分がこのホテルに満足していることを示す客観的な事実と言えることから、③は不正解となる。

問4 正解②

「このホテルの魅力の1つは何であるか」

- ① 館内すべての無料Wi-Fi
- ② 選択できる数々のレストラン
- ③ 屋内のテニスコート
- ④ 目の前の公共ビーチ

正解は②。ホテル詳細に関する項目で「素敵なビーチで1日楽しんで過ごし戻られたら、イムギヤー内にある5つのレストランのどこかでディナーをお楽しみください」と述べられているので、多様なレストランがこのホテルの魅力と言える。

「ホテル詳細」に「無料のWi-Fi」とあるが、これは客室内の特色であり、館内すべてかは判断できないため①は誤り。ホテル設備に「テニスコート」という記述があるが、屋内かどうかについてはこの情報だけでは判断できないので、③は不正解となる。また、④は「ロケーション」の「ホテル専用ビーチ」の記述と異なるので誤り。

主な語句・表現

[本文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ notable 図「注目に値する」
- ◇ attraction 図「呼び物」
- ◇ plenty of ... 「多くの…」
- ◇ return to - 「戻って-する」
- ◇ soundproofed 図「防音の」
- ◇ entertainment 図「娯楽；もてなし」
- ◇ satellite channel 「衛星放送のチャンネル」
- ◇ fridge 図「冷蔵庫」
- ◇ laundry 図「洗濯」
- ◇ elevator 図「エレベーター」
- ◇ separate 図「別々の」
- ◇ landmark 図「目印となる建物」
- ◇ with ... nearby 「…が近くにあるので」
- ◇ description 図「詳細；説明」
- ◇ dine 図「夕食をとる」
- ◇ feature 図「特徴として…がある」
- ◇ LCD TV 「液晶テレビ」
- ◇ convenience 図「便利な設備」
- ◇ amenity 図「快適な設備」
- ◇ facility 図「設備；サービス」
- ◇ seasonal 図「ある季節に限った；季節ごとの」
- ◇ charger 図「充電器」

[レビュー]

- ◇ gorgeous 図「見事な」
- ◇ buffet 図「バイキング形式の食事」
- ◇ drawback 図「欠点；短所」
- ◇ lifeguard 図「ライフガード；水難救助員」
- ◇ option 図「選択する物」
- ◇ humidity 図「湿気；蒸し暑さ」

第3問

解答

問1 - 8 ②, 9 ④, 10 ①, 11 ③ (全部正解で3点)
 問2 - ① 問3 - ③ (各3点)

出典 Original Material

全訳

あなたは海外留学をしたいと考えている人向けの雑誌で、以下の記事を見つけました。

コミュニケーションの隔たり
 ティム・リーチ

日本語と英語の会話のスタイルの隔たりのせいで、誤った伝達が行われてしまった私の経験について、お話しさせてください。

私は高校生の時に文化交流プログラムの一環で日本に行きました。その時まで2年間日本語を学んでいましたから、日本人と実際に会話をする時だろうと思ったのです。私はクラスに紹介され、暖かい歓迎を受けました。最初は彼らが何を言っているのか理解するのに少し苦勞しましたが、すぐに慣れることができました。

ある日、グループでディスカッションをしている時に、奇妙なことに気がきました。私が自分の意見を述べていると、そのグループのメンバーの1人がうなずいて「はい」と言いました。「はい」は日本語では「Yes」を意味するはずですが、それで私は彼が私の意見に賛成したのだらうと思いました。しかし私がしゃべり終わると、彼は私が言ったばかりのことに反対し始めたのです。私は少し混乱してしまいました。ほんの少し前に彼は「はい」と言っていたのに、今は私の意見に反対しているのです。

授業の後で、先生にそのことを話しました。彼女は英語を教えている、英語圏の文化をよく理解しているのです。彼女は私に、日本人は相手が言っていることを自分が理解していると示すために「はい」という言葉を使うことがあると教えてくれました。これは日本語で「あいづち」と呼ばれ、うなずきと一緒に使われることが多いとのことです。つまり、日本人が「はい」と言っているうなずいても、あなたが言っていることに同意しているということの意味しているとは限らない、ということです。私は理解しましたが、同時に、これは深刻な伝達の誤りを引き起こす可能性があると思いました。

そこで、提案です。こうした経験、否定的な結果になってしまっていたかもしれないコミュニケーションスタイルの隔たりを感じた経験談を集めるのはどうでしょうか。あなたの経験を編集部までメールに書いて送ってください。連絡先はこの雑誌の最後のページに載っています。来月号のこのセクションで、皆さんが経験したことのリストを作成したいと思います。

設問解説

問1 8 正解②, 9 正解④, 10 正解①, 11 正解③

「次の出来事(①～④)を起こつた順番に並べなさい」

- ① ティムはあるクラスメートの彼の意見に対する反応を、一貫性がないと思った。
- ② ティムはクラスメートたちが言っていることをだいたい理解できると感じた。
- ③ ティムは起こつたことについて先生と話し合いをした。
- ④ ティムは授業中に自身の意見を述べた。

正解は②→④→①→③。

②は、ティムが日本に来たばかりの頃に「最初は彼ら(クラスメート)が何を言っているのか理解するのに少し苦勞しましたが、すぐに慣れることができました」という記述が第2段落最終文(At first I...)にある。

その後、授業中にディスカッションをしている時に、ティムが意見を述べると(④)、1人のクラスメートがうなずいて「はい」と言い、それをティムは自分の意見を肯定する意思表示だととらえていたが(実際には、このクラスメートはあいづちをうっていただけ)、その後、そのクラスメートがティムの意見に反対して、ティムが困惑した(①)、という流れが第3段落に描かれている。続く第4段落第1文(After the class, ...)で、そのことをティムが先生に相談している(③)。

問2 12 正解①

「この記事から、外国人の話を聞く際、日本人は12かもしれないとあなたはわかる」

- ① 実際に考えていることについて誤った印象を与える
- ② 理解していない時にうなずく
- ③ 自分の意見を明確に述べない
- ④ “Yes”と言う代わりに「はい」と言う

正解は①。問1の解説で確認したように、この文章のティムの体験談では、日本人のあいづち(「はい」と言いながらうなずくことがある)が、外国人にとっては賛同を示すものと受け取られて誤解を招くことがある旨が述べられている。

②は「理解していない時に」が誤り。第4段落第2文(She told me...)にて、「日本人は相手が言っていることを自分が理解していると示すために『はい』という言葉を使うことがある」と述べられている。③は本文に記述がない。④もこの記事の記述からは誤りとなる。第3段落第2文(While I was...)にあるように、ティムが「はい」と“Yes”が対応するものであると思込んでいたがゆえに、本文で述べられている誤解が生じている。このような状況では、第4段落第4文(This means that...)にあるように、日本人は“Yes”の意味合いで「はい」と言っているのではないということになる。

問3 13 正解③

「あなたは編集部に自分の経験談を送ることに決めた。最初にすべきことは何か」

13

- ① ウェブサイトのアドレスを見つける。
- ② 編集部に提案をする。
- ③ 雑誌の最後のページを見る。
- ④ 自分の経験のリストを作る。

正解は③。第5段落にて読者の体験談を募集する旨が述べられているが、第3文(Please write an...)でメールを送るよう述べられた後に、続く第4文(Our contact address...)でその連絡先が雑誌の最後のページに記載されていると述べられている。

①は「ウェブサイトの」が誤り。見つけるべきは編集部のメールアドレスである。②は「提案」が誤り。「自分の経験」を送るのであり、「提案」をするのではない。④に関しては、読者の経験を集めて編集部がそのリストを作る旨が第5段落最終文(We are going...)で

述べられているが、読者自身がリストを作るとは書かれていないため誤りとなる。

主な語句・表現

[本文]

- ・問題冊子を参照のこと。
- ◇ miscommunication 図「伝達の失敗：誤解」
- ◇ cultural exchange 「文化交流」
- ◇ get used to ... 「…に慣れる」
- ◇ be supposed to - 「-することになっている」
- ◇ slightly 圖「少し」
- ◇ a while ago 「少し前」
- ◇ lead to 「…につながる；…を引き起こす」
- ◇ misunderstanding 図「誤解」
- ◇ account 図「説明；話」
- ◇ might have caused ... 「…を引き起こしていたかもしれない」 仮定法過去完了。
- ◇ editor 図「編集長；編集部」
- ◇ issue 図「号」
- ◇ have trouble -ing 「-するのに苦労する」
- ◇ nod 圖「うなづく」
- ◇ confused 図「困惑した」
- ◇ accompany 圖「…を伴う」
- ◇ serious 圖「深刻な」
- ◇ Why don't we ... ? 「…しませんか？」
- ◇ contact address 「連絡先」

[設問文・選択肢]

- ◇ inconsistent 圖「一貫しない；矛盾した」
- ◇ follow 圖「…についていく；…を理解する」
- ◇ state 圖「〈意見など〉を言う」

第4問

解答

問1 - ②

問2 - ④

問3 - ①

問4 - ④

(各3点)

出典

Original Material

全訳

あなたは自分が関心を抱く健康問題に関する英語のエッセイに取り組んでいます。これが現在の草稿です。先生からのコメントに基づいて変更を加えているところです。

目の健康を保つ	コメント
<p>世界中で、全ての年齢層で電子機器の画面を見る時間が増加している。私たちは学習、仕事、遊びのためにパソコン、タブレット端末、スマートフォンを使用している。しかし、研究により、画面をあまりに長時間見続けることは視力に悪影響があることが示されている。したがって、目を健康に保つ方法を学ぶ必要がある。ここでは、それを行うための3つの簡単な方法を紹介する。</p> <p>まず、定期的に目を休ませることである。医師は、画面を20分見るごとに、少なくとも20秒の休憩を取ることを提唱している。そして、この休憩中に、遠くのものを見るのがよいのである。</p> <p>(1) [^]私たちは目の「ストレッチ」を行い、近くのをあまりに長時間見ることから目を回復させるのに役立つことができる。</p> <p>2番目に、目の運動を行うことである。目を休め、鍛えるための多くの運動がある。例えば、「目の回転」は、目をゆっくりと円を描くように動かすことで行うことができる。これは(2) <u>目にと</u>ても効く。</p> <p>最後に、目の潤いを保つためにアイケア製品を使用することである。例えば、あまりに長時間画面を見続けることによって引き起こされることのあるドライアイに対処するために目薬を用いることができる。(3) [^]したがって、目薬は非常に役立つ。</p> <p>このようにして、目を健康に保つことは簡単にできる。(4) <u>目を</u>休め、簡単な目の運動を行うことは、誰もがいつでもどこでもできる2つのことである。さらに、ドライアイの症状を緩和するために目を潤す目薬を使用することもいい選択肢だ。これらが日常の習慣になれば、より簡単に健康な目を維持することができるだろう。</p>	<p>(1) つなぎの表現が必要です。</p> <p>(2) ここは具体性に欠けます。書き直してください。</p> <p>(3) ここに何か抜けていませんか？ もう1文を追加してください。</p> <p>(4) 下線部はあなたの考えを十分にまとめていません。もっと詳しく書いてください。</p>
<p>総評： 上記のコメントを利用して、より良いものにしてください。最終稿を楽しみにしています！ (もしかすると、授業で生徒にタブレット端末を使わせるのをやめるべきかもしれませんね！ 😊)</p>	

問1 14 正解②

「コメント(1)に基づくと、どれが追加する最も適切な表現か」 14

- ① 例えば
- ② このようにして
- ③ それにもかかわらず
- ④ さもなければ

正解は②。(1)の前、具体的には、第2段落第2文中 (for every 20 minutes ...)「画面を20分見るごとに、少なくとも20秒の休憩を取る」、続く第3文 (And during these ...)「そして、この休憩中に、遠くのものを見るのがよいのである」で定期的に目を休ませる必要性が述べられている。他方、(1)の後、第2段落第4文 (We can “stretch” ...)「私たちは目の『ストレッチ』を行い、近くのをあまりに長時間見ることから目を回復させるのに役立つことができる」では、目を休めることがもたらす効果が述べられている。したがって、前後の英文は「この方法で；このようにして」という意味の表現によって最も適切につながれると考えられるので、正解は②。

他の選択肢を選んでも、(1)前後の文が内容の上で適切につながらない。

問2 15 正解④

「コメント(2)に基づくと、どれがこの文を修正する最も適切な方法か」 15

- ① 画面を見たいだけ長く見るのを可能にする
- ② 脳の働きをより良くするのに役立つ
- ③ 画面を見る前に行うと最も効果がある
- ④ 目をリフレッシュさせ、その筋肉を強くする

正解は④。下線部(2)は、「目の回転 (eye roll)」運動の効用・効果を述べる部分である。この段落の第2文 (There are many exercises ...) と第3文 (For instance, ...) に、「目を休め、鍛えるための多くの運動がある。例えば、『目の回転』は、目をゆっくりと円を描くように動かすことで行うことができる」とあることから、「目の回転」運動の効用は下線部の「目を休め、鍛える」と考えられるので、下線部の内容に最も近い④の「目をリフレッシュさせ、その筋肉を強くする」を選べば、筋の通った内容となる。

他の選択肢は、いずれも下線部との関連性が乏しい内容であるため、段落内容が首尾一貫したものにならない。

問3 16 正解①

「コメント(3)に基づくと、どれが追加するのに最も適切な文か」 16

- ① 目の潤いを保つことは目を保護するのに効果的な方法である。
- ② 画面を見る時間が長すぎるのは目の損傷の主な原因の1つである。
- ③ 端末を使用する前に目薬を使うことが最善だ。
- ④ 自分の目に合う正しい種類の目薬を選ぶべきだ。

正解は①。(3)に先行する第4段落第2文 (For example, eye ...)「例えば、あまりに長時間画面を見続けることによって引き起こされることのあるドライアイに対処するために目薬を用いることができる」と、後続の英文 (Therefore, eye drops ...)「したがって、目薬は非常に役立つ」の間に来るものとして適切なものを選ぶことになる。①の Keeping eyes moist は「目薬を用いること」に対応する内容であり、その評価が an effective way to protect your eyes であることは妥当である。さらに、後続の Therefore, eye drops can help a lot. ともつながる。したがって、正解は①。

他の選択肢を選んでも、後続の文 (Therefore, eye drops ...) に内容の上で適切につながらない。

問4 17 正解④

「コメント(4)に基づくと、以下のどれが置き換えとして最も適切か」 17

- ① 特に夜に定期的に休憩を取ること
- ② 定期的に目の検査をしてもらうこと
- ③ 電子端末から20秒間離れること
- ④ より遠くのものを見るために短い休憩を頻繁に取ること

正解は④。第5段落第1文 (As you can see, ...) では結論として「目の健康維持は簡単にできることである」と述べられている。そして第2文 (Resting our eyes ...)、第3文 (Additionally, using moisturizing ...) に「(4)目を休め、簡単な目の運動を行うことは、誰もがいつでもどこでもできる2つのことである。さらに、ドライアイの症状を緩和するために目を潤す目薬を使用することもいい選択肢だ」とある。この部分は第2段落から第4段落の要点をまとめた部分であり、下線部(4)は第2段落 (Firstly, rest your ...) の内容を表すものにするのが適切である。第2段落第1文から第3文に、「まず、定期的に目を休ませることである。医師は、画面を20分見るごとに、少なくとも20秒の休憩を取るように提唱している。そして、この休憩中に、遠くのものを見るのがよいのである」とあることから、下線部の意味に最も近い④の「より遠くのものを見るために短い休憩を頻繁に取ること」が正解となる。

①は「休憩を取る」点はよいとしても「特に夜に」は第2段落の要点とは無関係なので不適。②のようなことは本文では述べられていない。③は上に引用した文の中の「定期的に (regularly)」や「20分見るごとに (for every 20 minutes)」に相当する意味が含まれていない点が大きな誤りである。

主な語句・表現

[本文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ screen time 「(電子機器の) 画面を見る時間」
- ◇ age group 「年齢集団」
- ◇ in the distance 「遠くに [の]」
- ◇ eye drop 「目薬」
- ◇ do damage to ... 「…に損傷を与える」
- ◇ moist 潤い「潤いのある」
- ◇ additionally 加えて

[コメント]

- ◇ specific 明確な；具体的な

[設問文・選択肢]

- ◇ fix 直す

第5問

解答

問1 - ② 問2 - ④ 問3 - ③ 問4 - ⑤ (各3点)
 問5 - 22 - ② 23 - ⑥ (各2点)

出典 Original Material

全訳

あなたは留学に興味を持っていて、留学についてリサーチをしました。以下の記事と100名の留学経験者に行ったアンケート結果に基づいて、あなたはグループディスカッションのためのプリントを作成します。

2021年度に留学したアメリカ人学生

2021年度に留学したアメリカ人学生数は188,753人で、新型コロナウイルス感染症の世界的流行以前の留学生数の半分より多い水準まで回復した。これは、2020年度の14,549人からの1297%の増加であり、学生が海外で学業単位を取得する機会を追い求めた結果である。ヨーロッパが主要な留学先であり、この地域で73.1%の学生が勉学に励んでいた。これは、過去30年以上遡っても、ヨーロッパで学ぶアメリカ人学生の割合としては最も高かった。アメリカ人留学生の留学先の上位から順に並べた10カ国は、イタリア、イギリス、スペイン、フランス、ドイツ、アイルランド、コスタリカ、ギリシャ、デンマーク、そして韓国であった。

オランダは2021年度の上位の留学先のうち、最も高い増加率を示しており、75793%の増加率である。アメリカ人留学生数の増加が著しい他の国にはオーストリア、アイルランド、チェコ共和国、ドイツ、南アフリカ、そしてイギリスが含まれている。

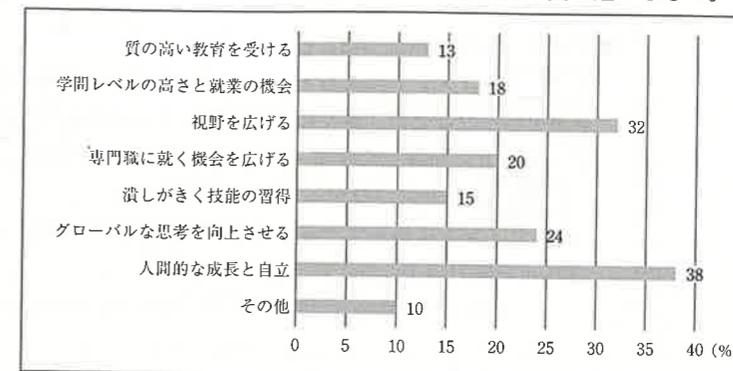
夏期は依然として留学するのに最も人気の時期であり、2021年度の夏期に留学した学生が半数近く(49%)を占めた。これは、学生の間での短期留学プログラムへの興味を増加を反映していて、8週間か、それ未満の留学、または夏期プログラムに参加する学生が64.8%である。32.7%の学生が一学期間通して留学し、それは2020年度の4.4%から増加したが、一学年あるいは一年間を通して留学した学生は3%にも満たなかった。

農学、工学、医療、数学、コンピュータ科学、物理または生命科学を含む理系の分野を専攻する学生が25.6%で、留学生で最も高い割合を示していた。この期間中に留学生に人気のその他の専攻分野は、20.8%のビジネスや経営、17.6%の社会科学だった。

留学生の多様性が広がっている。少数派の人種、民族の一員と自ら認める留学生の割合は、2005年度の17%から、2021年度の31.4%に増加した。障害を持つと報告する留学生の数もまた、2006年度の2.6%から2021年度の10.5%に増加した。

100人対象のアンケート結果

Q1: あなたが留学先として今の場所を選びたいと思った理由を選びなさい。



Q2: あなたは留学から何を学んだか。

主なコメント:

- 学生1 (S1): 私は自分の国では経験できなかったであろう専門分野の研究のいくつかの側面を経験する機会があり、研究の視野を広げることができた。
- S2: 私は多くのもの、だが特に挙げるとすれば完全主義と高い自意識を手放すことを学んだ。
- S3: 留学自体が少しリスクであるように感じられる。すなわち、それは新しい困惑する場所へ行ったり、話せない言語に囲まれているということだ。でも私の周りにいた多くの人々が、私を積極的に支えてくれた。その時私は困っている人たちを助けることの重要性に気づいた。
- S4: 留学することが自我の成長につながった。私は自分の国との強い一体感を感じるようになり、自分の国の文化のすばらしさにも気づくことができた。
- S5: 馴染みのない文化規範のある外国で海外生活することは困難だったが、自身で困難に立ち向かい、克服することで自立する方法を学ぶことができた。
- S6: さまざまな文化や背景を持つ人々と接することで、さまざまな視点から物事を見ることが私には容易にできるようになった。

あなたのディスカッションのプリント:

2021年度のアメリカ人留学生の状況

■アメリカ人留学生の人数

- 2021年度の間で188,753人の留学生
- 人数の変化: 18

■アメリカ人留学生(2021年度)の詳細データ

19

- A. 約4分の1が理系の分野を専攻した。
- B. 留学先として特に人気があったのはヨーロッパだった。
- C. イタリアが留学先として1位だった。
- D. 半数近くが短期留学を希望した。
- E. 少数派の人種、民族の参加者が増加した。

設問解説

■記事とアンケート結果からの考察

- 留学を希望する学生の多くは、学業での成功よりも一人暮らしや **20** ことを目指しているのかもしれない。

■アンケートからわかったこと

- **21** のコメントにあるように、困難な問題に自分の力で対処して、留学先の国の習慣を学んだことが、多くの学生に自分と自分の能力への自信を与えたようだ。
- アンケートに回答した学生の4分の1近くは、留学は **23** のコメントが示すように **22** の成長につながるだろうと期待していた。
- S1のコメントにあるように、自分の研究分野での新しい知識を得られることは、留学の主な魅力の1つだと言える。

問1 **18** 正解②

「**18**」に入る最も適切な選択肢から選びなさい

- ① 新型コロナウイルス感染症の世界的流行前の半分以下に減少した。
- ② 新型コロナウイルス感染症の世界的流行による大幅な減少の後、増加し始めた。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の世界的流行にもかかわらず、着実に増加した。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の世界的流行前の水準まで回復した。

正解は②。記事の第1段落第1文 (In the 2021/22 ...) に「2021年度に留学したアメリカ人学生数は188,753人で、新型コロナウイルス感染症の世界的流行以前の留学生数の半分より多い水準まで回復した」とあり、留学生の数は流行以前の半分より多く、また回復傾向にあることが読み取れる。また同文の後半では、2020年度には留学生の数は14,549人にまで激減したことが述べられているので、②が正解。

問2 **19** 正解④

「あなたはプリントをチェックしている。あなたはプリントの『アメリカ人留学生の詳細データ』の部分に1つ間違いを見つける。次の中のどれを取り除くべきか」 **19**

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は④。Dについては、第3段落第2文 (This reflects a ...) に「これは、学生の間での短期留学プログラムへの興味の増加を反映していて、8週間か、それ未満の留学、または夏期プログラムに参加する学生が64.8%である」とあり、短期の留学に参加した生徒は半数を大きく上回るため、誤り。他の選択肢の言及箇所は以下の通り。

- A: 第4段落第1文 (Students majoring in ...) 「農学、工学、医療、数学、コンピュータ科学、物理または生命科学を含む理系の分野を専攻する学生が25.6%で、留学生で最も高い割合を示していた」
- B: 第1段落第2文 (Europe was the ...) 「ヨーロッパが主要な留学先であり、この地域で73.1%の学生が勉学に励んでいた」
- C: 第1段落最終文 (The top ten ...) 「アメリカ人留学生の留学先の上位から順に並べた10ヶ国は、イタリア、イギリス、スペイン…であった」
- E: 第5段落第2文 (The proportion identifying ...) 「少数派の人種、民族の一員と自ら認める留学生の割合は、2005年度の17%から、2021年度の31.4%に増加した」

問3 **20** 正解③

「**20**」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

- ① 有用で実践的な技能を習得する
- ② 外国語に堪能になる
- ③ 知識と経験を広げる
- ④ 1年以上留学する

正解は③。アンケート結果を見ると、「学業での成功」に関連する項目は、グラフ中の「質の高い教育を受ける (13%)」、「学問レベルの高さと就業の機会 (18%)」、「専門職に就く機会を広げる (20%)」と考えられる。これらよりも数値の高い項目に、「視野を広げる (32%)」、「グローバルな思考を向上させる (24%)」、「人間的な成長と自立 (38%)」がある。この3つの中で、問題文中の「一人暮らし」に相当するのが、「人間的な成長と自立」と考えられる。したがって **20** には、「視野を広げる」や「グローバルな思考を向上させる」に相当するものを入れれば、アンケート結果からの考察として適切なものとなる。選択肢の中で、この2つの項目の意味に最も近いのは、③の「知識と経験を広げる」なので、これが正解となる。

問4 **21** 正解⑤

「**21**」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

- ① S1
- ② S2
- ③ S3
- ④ S4
- ⑤ S5
- ⑥ S6

正解は⑤。空欄が含まれる部分は「**21**」のコメントにあるように、困難な問題に自分の力で対処して、留学先の国の習慣を学んだことが、多くの学生に自分と自分の能力への自信を与えたようだ」という意味。アンケート結果 Q2 の S5 のコメントに「馴染みのない文化規範のある外国で海外生活することは困難だったが、自身で困難に立ち向かい、克服することで自立する方法を学ぶことができた」とあることから、⑤が正解。

問5 **22** 正解② **23** 正解⑥

「**22**」と **23**」に入る最も適切な選択肢を以下から選びなさい

- 22**
- ① 自国の国民性
 - ② 国際的な物の考え方
 - ③ 自立
 - ④ 自意識

- 23**
- ① S1
 - ② S2
 - ③ S3
 - ④ S4
 - ⑤ S5
 - ⑥ S6

正解は 22 が ㉔, 23 が ㉖。

空欄を含む部分は「アンケートに回答した学生の4分の1近くは、留学は 23 のコメントが示すような 22 の成長につながるだろうと期待していた」という意味。アンケート結果のQ1のグラフによると、「グローバルな思考を向上させる」という理由を挙げた学生は4分の1近く(24%)いることがわかる。したがって、22 はこの意味に最も近い ㉔ の「国際的な物の考え方」が正解。また、アンケート結果のQ2で、S6は「さまざまな文化や背景を持つ人々と接することで、さまざまな視点から物事を見ることに私は容易にできるようになった」と同様の内容を述べているので、23 は ㉖ が正解。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ handout ㉔ 「プリント；配布資料」

[記事]

◇ rebound ㉔ 「回復する」

◇ pre-pandemic ㉔ 「感染症流行以前の」

◇ dominant ㉔ 「有力な；主要な」

◇ in rank order 「序列順に」

◇ Czech Republic 「チェコ共和国」

◇ short-term ㉔ 「短期間の」

◇ major ㉔ 「専攻する」

◇ STEM ㉔ 「科学、技術、工学、数学などの理数系の教育分野」

◇ diversity ㉔ 「多様性」

◇ identify as ... 「自分を…(の一員)と自認する」

◇ ethnic ㉔ 「民族の」

[アンケート]

◇ broaden ㉔ 「…を広げる」

◇ specifically ㉔ 「明確に」

◇ expectation ㉔ 「期待」

◇ perfection ㉔ 「完全なこと；完璧」

◇ unfamiliar ㉔ 「未知の；なじみの薄い」

第6問

解答

- 問1 - ① (3点)
 問2 - 25 ①, 26 ③, 27 ⑤, 28 ④ (全部正解で3点)
 問3 - ①・⑤ (順不同・両方正解で3点)
 問4 - ④ (3点)

出典

Original Material (参考資料: The Economist, Dec. 7th, 2006)

全訳

国際ニュースの記事を使って、あなたは英語の口頭発表コンテストに参加する予定です。発表用のメモを作成するために、アメリカで書かれた次のニュース記事を読みなさい。

アナイス・ボルディエとサマンサ・ファターマンは同じように笑い、同じように頬にそばかすがある。彼女たちは同じ髪型をしている。2人は一緒に育ったようからかい、つき合うが、一緒に育ったわけではないのだ。サマンサもアナイスも一卵性双生児の姉妹がいることを知らなかった。双子は2013年5月に初めてロンドンで会った。双子がエアビーアンドビー民泊アパートの居間で顔を合わせた時、2人は凝視することしかできなかった。最初彼女たちは、初デートをしているようで少しきまり悪く感じたが、その居心地の悪さはすぐに消え去った。その最初の日に一緒に昼寝までもしたのだった。

パリで育ったフランス人学生のアナイスはロンドンでファッションデザインを学んでいた。2012年12月のある土曜日、彼女がバスに乗っていた時、彼女の友だちがサマンサを特集したユーチューブ動画のスクリーン・ショットを送ってきた。アナイスはふと、「あら、誰が私の動画をユーチューブに載せたのかしら?」と思った。しかし後に、それは彼女ではなくてアメリカ人の女優であることがわかった。2005年の映画である『SAYURI』に出演したロサンゼルスに拠点を置く女優であるサマンサは、アナイスと同様に韓国で生まれたが、彼女と同じ日である1987年11月19日に生まれたのだった。2人とも生まれてすぐに養子に出され、アナイスはパリの夫婦に、サマンサは3人の男の子のいるニュージャージーの家族に引き取られた。彼女はフェイスブックを通じてサマンサに連絡することにし、友だちリクエストとメッセージを送った。

2013年2月21日、サマンサは新しい映画の公開日に向けて爪にマニキュアを塗ってもらうために友だちのアパートへ行った。彼女の友だちがマニキュアを塗っている間、彼女は携帯をいじり、アナイスという名前の若い女性からフェイスブックにリクエストが届いているのを見た。その女性の写真をじっと見て、自分の古い写真だと思った。彼女は画像をタップし、プロフィールを見た。すると、彼女たちは同じ誕生日で同じような活動をしてきたことがわかった。サマンサは最初、アナイスの友だちリクエストとメッセージをどう判断すればよいかわからなかった。返事をするのに数日かかったが、最終的に彼女は友だちリクエストを受け入れた。

フェイスブックでつながってから数日後、サマンサとアナイスはスカイプを使って初めて話をした。彼女たちにとって、それはブラインド・デートに行くようなもので、最初に何をたずねたらいいのかわからなかった。彼女たちは全てのことがどのように起こったのか、友だちは何と言っているのか話した。自分たちの鼻、歯、耳、手を比較した。

現在の彼氏事情について話をした。彼女たちは話を続け、最後はただお互いを凝視していたのだった。90分間おしゃべりをするはずが、結局3時間話をするようになった。

後に彼女たちはDNAテストを受け、既にわかっていたことが証明された。つまり、彼女たちは実際に双子だったのだ。彼女たちは、長い髪や鼻の周りに散りばめられたそばかす以外にも似ている点を発見した。2人ともピーマンと加熱した人参が嫌いで、ペプシよりもコカ・コーラが好きで、韓国バーベキューとハロウィンが好きである。2人は同じ色のマニキュアが好きで、ストレスを感じた時には昼寝が必要で、1日に10時間眠る。しかしながら、彼女たちの違いも明らかだ。サマンサはより社交的だが、それは彼女が思うに2人の兄と一緒に育った結果である。他方、一人っ子のアナイスは、はるかに気分屋で、自分が養子になったことや棄てられたという気持ちに苦しんでいる。

彼女たちは韓国人の生みの母親に連絡しようとしたが、母親は彼女たちとつながりを持ちたいと思っていない。「いつか彼女が私たちに連絡したくなったら、私たちはここにいるわ。私たちはその気があるし、準備もできているわ」とサマンサは言う。彼女たちは今でも地球の反対側に住んでいるが、今やパリでハンドバッグのデザイナーとなったアナイスとロサンゼルスにいるサマンサは毎日何度も携帯メッセージを送っている。サマンサは朝いつも携帯メッセージで起こしてくれるとアナイスは言う。彼女は「起きて、遅刻よ」といったメッセージを受け取るのだ。2人は赤ちゃんの時に引き離されたかもしれないが、今や永遠につながっていると彼女たちは言う。

あなたのメモ：

現代的な方法で再会した双子

セントラル高校
英語口頭発表コンテスト

登場人物

- アナイス：
 - サマンサ：
- }

双子の出会いの流れ

双子として生まれた。

→ 異なる家族に養子として受け入れられた。

→ → → →

双子の共通の特徴

彼女たちは同じ：

- そばかすがある。
- 髪型をしている。
- 笑い方をする。
- 色の好みを持っている。

- 。
- 。

現在の双子

双子は今：

- 。
- お互いにつながっていると感じている。
- 多くのメッセージを送り合う。

設問解説

問1 正解 ①

「に最もふさわしい組み合わせはどれか」

アナイス

- ① 韓国系のフランス人デザイナー
- ② アメリカ系の韓国人女優
- ③ フランス系の韓国人デザイナー
- ④ 韓国系のアメリカ人女優

サマンサ

- 韓国系のアメリカ人女優
- フランス系の韓国人デザイナー
- アメリカ系の韓国人女優
- 韓国系のフランス人デザイナー

第2段落第1文 (Anais, a French ...) に、アナイスはフランス人学生であると述べられており、最終段落第3文 (Though they still ...) より、今はハンドバッグのデザイナーになっていることがわかる。他方、サマンサについては、第2段落第4文 (But later she ...) に、アメリカ人女優であると述べられている。また、第2段落第5文 (Samantha, a Los ...) や最終段落第1文 (They have tried ...) から、2人は韓国人の母親から韓国で生まれたことがわかる。

以上のことより、アナイスは韓国系のフランス人デザイナー、サマンサは韓国系のアメリカ人女優であると判断できるので、①が正解。

問2 正解 ①, 正解 ③, 正解 ⑤, 正解 ④

「5つの選択肢 (①～⑤) から4つを選び、起こった順に並べ替えなさい」

- ① アナイスはユーチューブでサマンサを見た。
- ② サマンサはアナイスに友だちリクエストを送った。
- ③ フェイスブックで「友だち」になった。
- ④ 初めて直接会った。
- ⑤ スカイプで話をした。

第2段落に、アナイスがサマンサのユーチューブ動画を見たことが述べられている。その後、アナイスがサマンサに対して友だちリクエストをしたことが同段落最終文 (She decided to ...) に述べられており、さらに、第3段落の内容から、2013年2月21日にその友だちリクエストをサマンサが見て、その数日後にリクエストを受け入れてフェイスブック上の「友だち」になったことがわかる。また、その数日後にスカイプで会話をしたことが第4段落第1文 (Several days after ...) から読み取れる。ここで第1段落第5文 (The twins met ...) に戻ると、2人が初めて直接会ったのは2013年5月と述べられており、これはスカイプで連絡を取った後の出来事だとわかる。したがって、①→③→⑤→④の順番に決定する。友だちリクエストはアナイスからサマンサに対して送ったので、②は誤り。

問3 ・ 正解 ①・⑤

「とに最もふさわしい2つの選択肢を選びなさい (順序は問わない)」

- ① 食べ物の好み
- ② 家庭環境
- ③ 性格

- ④ 職業
- ⑤ 睡眠のパターン

正解は①・⑤。第5段落第3文(Both hate bell ...)に「2人ともピーマンと加熱した人参が嫌いで、ペプシよりもコカ・コーラが好きで、韓国パーベキューが好きだ」と述べられている。また、その次の文に「ストレスを感じた時には昼寝が必要で、1日に10時間眠る」とある。したがって、①と⑤が正解。

第5段落の最後から2番目の文(However, their differences ...)と最終文(On the other ...)から、2人の性格と家庭環境が異なることがわかるので、②と③は誤り。また、2人は同じ職業ではないことがわかるので④も誤り。

問4 31 正解④

「31に最も適切な選択肢を選びなさい」

- ① 生みの母親と連絡を取っている
- ② 毎朝お互いに電話をかける
- ③ 頻繁にお互いを訪問している
- ④ 離れた場所に住んでいる

正解は④。最終段落第3文(Though they still ...)より、2人は離れた場所に住んでいることがわかる。

①, ②については本文中の記述と異なり、③については本文中に記述がないので誤り。

主な語句・表現

[リード文]

- ・問題冊子を参照のこと。
- ◇ oral ㊦「口頭の」
- ◇ in preparation for ... 「…に備えて」

[第1段落]
(Anais Bordier ...)

- ◇ freckled ㊦「そばかすのある」
- ◇ poke ㊦「…をつつく」
- ◇ identical ㊦「一卵性の」
- ◇ Airbnb 「エアビーアンドビー」 アメリカの民泊企業。
- ◇ stare ㊦「凝視する」
- ◇ discomfort ㊦「居心地の悪さ」
- ◇ tease ㊦「…をからかう」
- ◇ neither A nor B ... 「AもBも…ない」
- ◇ come face to face 「面と向かう」
- ◇ awkward ㊦「きまりの悪い」
- ◇ take a nap 「昼寝する」

[第2段落]
(Anais, a ...)

- ◇ screen shot 「スクリーン・ショット」 画面上に表示されたものを写した画像。
- ◇ feature ㊦「…を特集する」
- ◇ post ㊦「…を載せる；投稿する」
- ◇ via ㊦「…経由で」
- ◇ automatically ㊦「自動的に；思わず」
- ◇ adopt ㊦「…を養子にする」

[第3段落]
(On February ...)

- ◇ have one's nails done 「爪にマニキュアを塗ってもらう」 do one's nails で「爪にマニキュアを塗る；爪の手入れをする」。
- ◇ the opening day 「(舞台などの) 初日」
- ◇ tap ㊦「…をタップする；軽くたたく」
- ◇ what to make of ... 「…をどう判断すべきか」
- ◇ eventually ㊦「最終的に」
- ◇ fiddle with ... 「…をいじる」

[第4段落]
(Several days ...)

- ◇ status ㊦「状況」
- ◇ end up -ing 「最終的に-することになる」

[第5段落]
(Later they ...)

- ◇ similarity ㊦「類似点」
- ◇ bell pepper 「ピーマン；パプリカ」
- ◇ nail polish 「マニキュア液」
- ◇ spray ㊦「しぶき；飛散」
- ◇ prefer A to B 「BよりもAの方を好む」
- ◇ notable ㊦「顕著である；注目に値する」

- ◇ outgoing ㊦「社交的な」
- ◇ struggle with ... 「…に苦しむ；…と戦う」
- ◇ moody ㊦「気分屋の；憂鬱な」
- ◇ abandonment ㊦「棄てられること」

[最終段落]
(They have ...)

- ◇ halfway around the world 「地球の反対側に」
- ◇ text message 「携帯電話で送るメッセージ」
- ◇ multiple ㊦「多数の」
- ◇ bonded ㊦「(きずなで) 結ばれた」
- ◇ tear ... apart 「…を引き裂く」

[設問・選択肢]

- ◇ reunite ㊦「…を再会させる」
- ◇ preference ㊦「好み；嗜好」
- ◇ be in touch with ... 「…と連絡を取っている」
- ◇ biological ㊦「生物学上の」
- ◇ descent ㊦「系統；血統」
- ◇ profession ㊦「職業」

第7問

- 問1 - ④ 問2 - ⑤ 問3 - ④ (各3点)
 問4 - ①・② (順不同・両方正解で4点)
 問5 - ① (3点)

出典

Original Material (参考資料: <https://www.darksky.org/light-pollution/>)

全訳

あなたは、光が環境に与える影響について学んでいます。あなたは、それについて詳しく調べるために、インターネットサイトの次の文章を読もうとしているところです。

大気汚染、水質汚染、土壌汚染は私たちのほとんどが知っているが、光もまた汚染物質となりうることをご存知だっただろうか？ 人工光の不適切な使用や過剰な使用は、光害として知られており、人間や野生生物、気候に深刻な環境的結果をもたらす可能性がある。

光害の1つに sky glow があり、それは主に都市部の上空で、自動車や街灯、オフィス、工場、屋外広告などの電灯のせいで夜空が明るくなり、日がとっぴり暮れても仕事や遊びをしている人たちのために、夜が昼になってしまうことである。2016年の調査によると、世界の人口の80%が sky glow の下で生活している。アメリカやヨーロッパでは、99%の大衆が自然の夜空を体験できないのだ！他にも3種類の光害がある。それらは、clutter, light trespass, glare である。clutter とは、明るく混乱をさせるような過剰な光源の集まりのことだ。light trespass とは、望まれなかったり、必要とされていない場所に光が広がり入り込むことだ。glare とは、視覚的な不快感を引き起こす過剰な明るさのことだ。

光害は、産業文明の副産物である。実際、夜間に使用される屋外照明の多くは、効率が悪く、明るすぎたり、おかしなところに当たっていたり、不適切に遮蔽されていたりして、多くの場合、まったく必要のないものである。これらの光とそれを作るために使用される電気は、人々が照らしてほしい現実の物や場所に当てられるのではなく、空に向かって無駄に放出されているのだ。

地球上の多くの人々が光に汚染された空の下で生活しているため、過剰に光を当てることは国際的な懸念となっている。都市部や郊外に住んでいれば、夜、外に出て空を見上げるだけで、このような汚染を目にすることができる。30億年もの間、地球上の生命は、太陽、月、星の光だけで作られた明暗のリズムの中に存在していた。今では、人工的な光が闇を支配し、街が夜になると光り輝き、自然の昼と夜のパターンを崩し、環境の微妙なバランスを変えている。この天然資源の喪失による悪影響は、目に見えないもののように思えるかもしれない。しかし、夜空が明るくなることで、エネルギー消費量の増加、生態系や野生生物の混乱、人間の健康への害、犯罪や安全に関する悪影響を含むマイナスの影響に直接関連することを示す証拠が増えている。光害はすべての市民に影響を与える。幸いなことに、光害への関心は劇的に高まっている。自然な夜を取り戻すために行動を起こす科学者、環境保護団体、市民のリーダーが増えている。私たち一人一人が、地域、国内、国際的に光害に立ち向かうための現実的な解決策を選ぶことができる。

設問解説

問1 32 正解④

「あなたには光害が32によって引き起こされてきたことがわかる」

- ① 人間による自然光源の破壊
- ② 先進国での経済不況
- ③ 暗闇の危険性に対する高まる認識
- ④ 不必要な場所での不必要な光の使用

正解は④。著者は、第3段落第2文(The fact is ...)で「実際、夜間に使用される屋外照明の多くは、効率が悪く、明るすぎたり、おかしなところに当たっていたり、不適切に遮蔽されていたりして、多くの場合、まったく必要のないものである」と述べ、続く最終文(This light, and ...)でも「これらの光とそれを作るために使用される電気は、人々が照らしてほしい現実の物や場所に当てられるのではなく、空に向かって無駄に放出されているのだ」と述べていることを根拠にする。

①～③のような記述は本文中にはない。

問2 33 正解⑤

「あなたは学んだばかりの情報をまとめている。表はどのように仕上げられるべきか」

33

光害の種類	簡単な説明
(A)	居住地域上空の明るさ
(B)	見ることを困難にする明るさ
(C)	さまざまな光源から集められた光
(D)	意図されていないところに入り込む光

- ① (A) clutter (B) glare (C) light trespass (D) sky glow
- ② (A) clutter (B) light trespass (C) sky glow (D) glare
- ③ (A) light trespass (B) glare (C) clutter (D) sky glow
- ④ (A) sky glow (B) clutter (C) light trespass (D) glare
- ⑤ (A) sky glow (B) glare (C) clutter (D) light trespass

正解は⑤。表にまとめられている4種類の光害は第2段落に記述がある。sky glowに関しては第1文(One kind of ...)に「都市部の上空で、自動車や街灯、オフィス、工場、屋外広告などの電灯のせいで夜空が明るくなり」という記述があるので、(A)に該当するとわかる。第5文(Clutter is bright, ...)にはclutterの説明があり、「明るく混乱をさせるような過剰な光源の集まりのことだ」とある。よって(C)が該当する。第6文(Light trespass is ...)にはlight trespassの説明があり、「望まれなかったり、必要とされていない場所に光が広がり入り込むことだ」と述べられているので(D)に該当する。最終文(Glare is excessive ...)にはglareの説明があり、「視覚的な不快感を引き起こす過剰な明るさのこと」と述べられているので(B)がこれに該当する。

問3 34 正解④

「次のうち、光害の悪影響として含めるべきでないものはどれか」 34

- ① 人体の生命と身体への危険
- ② 電気の無駄遣い
- ③ 自然環境への干渉
- ④ 文明の発展
- ⑤ 社会における治安の悪化

正解は④。第4段落第6文(But a growing ...)で「しかし、夜空が明るくなるのが、エネルギー消費量の増加、生態系や野生生物の混乱、人間の健康への害、犯罪や安全に関する悪影響を含むマイナスの影響に直接関連することを示す証拠が増えている」と述べられていることから、①「人体の生命と身体への危険(人間の健康への害に相当)」、②「電気の無駄遣い(エネルギー消費量の増加に相当)」、③「自然環境への干渉(生態系や野生生物の混乱に相当)」、⑤「社会における治安の悪化(犯罪や安全に関する悪影響に相当)」は光害の悪影響として言及されていると判断できる。一方、④「文明の発展」は本文中では光害の悪影響として取り上げられていないことから、正解は④となる。

問4 35・36 正解①・②

「あなたが読んだ記事によると、次のうちどれが正しいか(選択肢を2つ選べ。順序は問わない)」 35・36

- ① 光害をなくすことは可能である。
- ② 地球上の生命は、非常に長い間、光と闇のリズムに沿って生きていた。
- ③ 光害以外の種類の公害についても、人々はもっと知っておくべきだ。
- ④ 光害の悪影響は容易に理解できる。
- ⑤ 地球上の光の量を制御することはできない。

正解は①と②。①に関しては最終段落第1文(The good news ...)に「光害は他の多くの形態の公害とは異なり、元に戻すことができ」とある。reversible「元に戻すことができる」というのは「光害をなくすことが可能である」と言い換えることができるので本文の内容に一致している。②に関しては第4段落第3文(For three billion ...)に「30億年もの間、地球上の生命は、太陽、月、星の光だけで作られた明暗のリズムの中に存在していた」とあり、これに一致している。

③に関しては本文最終文(By being an ...)に「この深刻化しつつある問題を認識してもらい、より多くの人に自然の夜空を守るために必要な行動をとってもらう一助となる」とあるが、光害以外の種類の公害についてもっと知るべきだという記述は本文中にはないため、本文の内容に一致しているとは言えない。④に関しては最終段落第5文(Many people either ...)に「多くの人、光害や夜間の人工的な光がもたらす悪影響について知らないか、それほど理解していない」とあるので、本文と一致しているとは言えない。⑤に関しては最終段落第1文(The good news ...)の後半で「私たち一人一人が変化をもたらすことができる」と述べられていることと矛盾する。

問5 37 正解①

「著者の立場を表すには、次のうちどれが最も適切か」 37

- ① 著者は、光害を減らすためには、人々の意識と行動が必要であると主張している。
- ② 著者は、人間は自然光の美しさを思い出すべきだと考えている。
- ③ 著者は、光害をくい止めるためには、個人ではなく政府の努力が必要だと述べている。
- ④ 著者は、光をより放出しない製品を作る必要があることについて語っている。

正解は①。最終段落第2文(Just being aware ...)で「行動を起こすことが必要だ」と述べられていることと、本文最終文(By being an ...)で「この深刻化しつつある問題を

認識してもらい、より多くの人に自然の夜空を守るために必要な行動をとってもらう一助となるだろう」と述べられていることを根拠に①を正解にする。

②の「自然光の美しさ」や④の「光をより放出しない製品」といった内容の記述は本文中にはない。③に関しては、著者は最終段落で私たち一人一人の行動の重要性を説いているので、著者の立場を説明したものとは言えない。

主な語句・表現

【第1段落】

(Most of us ...)

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ be familiar with ... 「…をよく知っている」 ◇ pollution 図「汚染」
- ◇ pollutant 図「汚染物質」 ◇ inappropriate 図「不適切な」
- ◇ excessive 図「過剰な」 ◇ artificial 図「人工的な」
- ◇ serious 図「深刻な」 ◇ environmental 図「環境の」
- ◇ consequence 図「影響；結果」 ◇ wildlife 図「野生生物」

【第2段落】

(One kind of ...)

- ◇ glow 図「輝き；光」 ◇ brighten 図「…を明るくする」
- ◇ mostly 図「ほとんど；もっぱら」 ◇ urban 図「都市の」
- ◇ due to ... 「…のせいで」 ◇ streetlamp 図「街灯」
- ◇ advertising 図「広告」 ◇ turn ... into ~ 「…を～に変える」
- ◇ sunset 図「日没」 ◇ the public 「一般大衆」
- ◇ confusing 図「混乱させるような」 ◇ grouping 図「集団」
- ◇ source 図「源」 ◇ extend 図「広がる」
- ◇ brightness 図「明るさ」 ◇ visual 図「視覚の」
- ◇ discomfort 図「不快」

【第3段落】

(Light pollution ...)

- ◇ side effect 「副作用」 ◇ industrial 図「産業の」
- ◇ The fact is that ... 「実は…」 ◇ inefficient 図「効率の悪い」
- ◇ overly 図「過剰に」 ◇ poorly 図「下手に」
- ◇ target 図「…を狙う」 ◇ improperly 図「不適切に」
- ◇ shield 図「…を遮る」 ◇ completely 図「完全に」
- ◇ waste 図「…を無駄にする」 ◇ spill 図「…を溢れさせる；流す」
- ◇ be focused on ... 「…に集中している」 ◇ actual 図「実際の」
- ◇ object 図「物」

◇ areas that people want illuminated は、areas that people want to be illuminated と同じで、to be が省略されたもの。that は関係代名詞で、want の目的語として働く。

【第4段落】

(With much ...)

- ◇ With much of the Earth's population living ... with は付帯状況の with と呼ばれるもの。with A B で「A が B の状態で」という意味になる。この場合は A にあたるのが much of the Earth's population で B にあたるのが living ... である。
- ◇ over... 「過剰な…」 ◇ concern 図「懸念；関心」
- ◇ suburban 図「郊外の」
- ◇ all you have to do to see this type of pollution is go outside ... all と you の間には関係代名詞が省略されていて、関係代名詞節は pollution まで。all が主語として機能していて is が動詞になっている。補語の位置の go outside ... は to go outside ... と不定詞の to を補って読む。補語の位置に置かれる名詞用法の不定詞は to が省略されて、原形が残ることがある。
- ◇ billion 図「10億」 ◇ rhythm 図「リズム」
- ◇ solely 図「…だけで；ただ」 ◇ illumination 図「照らすこと」
- ◇ power over ... 「…を支配する力」 ◇ glow 図「輝く」
- ◇ disrupt 図「…を混乱させる」 ◇ shift 図「…を変える；移行する」

- ◇ delicate ㊦「繊細な」
- ◇ invisible ㊦「目に見えない」
- ◇ a growing body of ... 「ますます増大していく大量の…」
- ◇ link ... to ~ 「…を～に結びつける；関連付ける」
- ◇ directly ㊦「直接に」
- ◇ including ㊦「…を含む」
- ◇ disruption ㊦「混乱」
- ◇ adverse ㊦「有害な」
- ◇ crime ㊦「犯罪」
- ◇ fortunately ㊦「幸運にも」
- ◇ a growing number of ... 「ますます多くの…」
- ◇ restore ㊦「…を復活させる」
- ◇ practical solution 「実用的な解決策」
- ◇ negative ㊦「否定的な」
- ◇ impact ㊦「影響」
- ◇ energy consumption 「エネルギー消費」
- ◇ ecosystem ㊦「生態系」
- ◇ regarding ㊦「…に関して」
- ◇ affect ㊦「…に影響する」
- ◇ dramatically ㊦「劇的に」
- ◇ take action 「行動する」
- ◇ adopt ㊦「…を採用する」
- ◇ locally ㊦「地元で」
- ◇ unlike ㊦「…とは違って」
- ◇ be aware that ... 「…ということに気付いている」
- ◇ minimize ㊦「…を最小化する」
- ◇ pass ... on 「…を受け渡す」
- ◇ issue ㊦「問題」
- ◇ inspire ... to - 「…を～する気にさせる」
- ◇ protect ㊦「…を守る」
- ◇ reversible ㊦「元に戻せる」
- ◇ spread ㊦「…を広める」
- ◇ ambassador ㊦「代表的な人物；大使」
- ◇ awareness ㊦「意識」
- ◇ take steps to - 「～するための対策をする」

[最終段落]
(The good news ...)

第8問

解答

問1 - ㊢	問2 - ㊡	(各3点)
問3 - 40	41 - ㊠・㊣ (順不同)	42 - ㊣ (全部正解で4点)
問4 - ㊢		(3点)
問5 - ㊢		(4点)

出典

Original Material

全訳

あなたは部活動の朝練を許可すべきかどうかについてのエッセイを書く準備をしています。以下のステップに従います。

- ステップ1：部活動に関するさまざまな視点を読み理解する。
- ステップ2：部活動の朝練の問題について立場を決める。
- ステップ3：追加の資料を使ってエッセイの概要を作成する。

[ステップ1] さまざまな資料を読む

著者A (高校の校長)

運動部は、生徒の身体的及び社会的発達において大きな役割を果たしています。しかし、多くの学校では、部活動用の施設の数に限られています。例えば、私の学校では、体育館が1つしかなく、バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部が共有しています。これは、朝練の時間の設定を許可しない限り、各部活動の練習時間が減少することを意味します。このような練習を交代で行うことにより、各部は1週間の活動の量を増やし、練習の追加時間を得ることができます。これにより、彼らはチームとして成長し、より競争力を持つようになります。

著者B (学校カウンセラー)

高校は、多くの理由から生徒にとってストレスが多い時期です。生徒が私のところへ来るよくある理由の1つは、部活動、特に運動部について話すためです。多くの生徒は、たとえ早朝の練習であっても、全ての練習に参加しなければならない圧力を感じています。1日を早く始めること自体は悪い考えではありませんが、10代の若者にとっては、身体的及び精神的にストレスがかかります。時には同じことを述べる親からの連絡さえあります。十分な睡眠を取ることが重要であり、今日では多くのやるべきことがあるため、生徒もその親も朝の睡眠が必要です。

著者C (高校生)

私の学校では、朝の部活の練習がある生徒をいとも簡単に見分けることができます。それは始業のベルの1分前に教室に来て、授業が始まる時に着替えている生徒たちです。それは全く目障りです。そして、その同じ生徒たちは、練習であまりにテンションが高くなりすぎたり、疲れすぎていたりして、授業に集中できません。私は、学校が早朝の練習を許可する理由を理解するのに本当に苦労します。しかし、おそらくそれは私だけで、世の中には考慮すべき他の意見もあるのだと思います。

著者D (野球部の顧問)

全ての人にとってではありませんが、学校のスポーツは、10代の若者が高校在学中に自信を得て、友情を築くための素晴らしい方法になり得ます。定期的なトレーニングを通じて、

生徒たちは身体的スキルと精神的強さが養われていくのを目の当たりにするでしょう。しかし、このために生徒は一般に週に8～10時間の練習を必要とするでしょう。放課後や週末の練習が十分でない場合、部活動は学校の始業前に集まることができます。朝早くから始まることについて不平を言う生徒もいるかもしれませんが、プラス面がマイナス面を上回るため、学校はこれらの練習を許可すべきです。

著者 E (保護者)

息子はバスケットボール部を楽しんでいて、部に所属することを通じてより責任感が強くなったのが私には見てとれます。例えば、彼は1週間の予定を立て、それに従って行動する方法を学びました。しかし、正直に言うと、部活動のスケジュールは問題を引き起こします。特に週末に部活動があると、家族で外出を計画することが難しくなります。そして、いつもより早く起きて、彼が時間通りに練習に間に合うように送り出すのに大変な思いをしています。学校が親にかかる負担をもっと考えてくれるとよいのですが。

「部活動の朝練の是非」がトピックで、各著者の基本的な立場と、主な主張をまとめると、以下ようになる。

著者	基本的立場	主な主張
A	賛成	・生徒の成長に寄与する。 ・朝練によって部活動の練習時間が確保できる。
B	反対	・生徒のストレスになる可能性がある。 ・生徒と家族には朝の睡眠が必要だ。
C	反対	・授業の直前に朝練から戻ってくる生徒は目障りである。 ・朝練に参加する生徒は授業への集中が難しい。
D	賛成	・自己肯定感と人間関係の構築に役立つ。 ・部活動を通して成長するには一定の練習時間が必要だ。
E	慎重	・家庭の生活リズムや余暇に影響がある。 ・親にかかる負担が大きいと感じている。

問1 38 正解③

「著者 B と E はいずれも 38 と述べている」

- ① 練習のために早起きするのは大変であったとしても、親は子どもを支援すべきだ
- ② 部活動の朝練に参加することは、生徒が責任感を増すのに役立つ
- ③ 運動部の生徒の親にとって、朝練は困難になることがある
- ④ 10代の若者は、朝練に参加するのが特に大変である

正解は③。著者 B は第5文 (From time to ...) ～第6文 (Getting enough sleep ...) 「時には同じことを述べる親からの連絡さえあります。十分な睡眠を取ることが重要であり、今日では多くのやるべきことがあるため、生徒もその親も朝の睡眠が必要です」から、運動部の生徒の親にとって、朝練は負担になり得ると述べているとわかる。同様に、著者 E の第5文 (And getting up ...) と第6文 (I wish schools ...) 「そして、いつもより早く起きて、彼が時間通りに練習に間に合うように送り出すのに大変な思いをしています。学校が親にかかる負担をもっと考えてくれるとよいのですが」では、運動部の生徒の親にとって、朝練は負担であると述べているので、正解は③。

①の「親は子どもを支援すべきだ」は、著者 B はまったく述べていない。著者 E は部活動に取り組む自身の子どもを支援していることは述べているものの、「親は子どもを支援すべきだ」とまでは述べていないので不適。②の「生徒が責任感を増すのに役立つ」は、著

設問解説

者 E は第1文の後半 (he has become ...) 「部に所属することを通じてより責任感が強くなった」と述べているものの、著者 B はまったく述べていないので不適。④の「10代の若者は、朝練に参加するのが特に大変である」は、著者 B の第4文 (Although starting your ...) 「1日を早く始めること自体は悪い考えではありませんが、10代の若者にとっては、身体的及び精神的にストレスがかかります」から推論することは可能だが、著者 E は特に述べていないので不適。

問2 39 正解②

「著者 C は 39 ということを示唆している」

- ① 部活に入っている生徒が時間通りに到着できるよう、授業が始まる時間を遅らせるべきである
- ② 朝練についての学校の方針は、さまざまな意見を考慮に入れて決定されるべきだ
- ③ 生徒の中には、朝に運動をした後の方が集中力が高まる者があるかもしれない
- ④ 朝の練習をする生徒は、しない生徒よりも健康になる傾向がある

正解は②。著者 C の第5文 (I really have ...) ・第6文 (But maybe that ...) 「私は、学校が早朝の練習を許可する理由を理解するのに本当に苦労します。しかし、おそらくそれは私だけで、世の中には考慮すべき他の意見もあるのだと思います」から、著者 C は自分個人の意見だけでなく、いろいろな意見を参考にして学校の方針を決めるべきであることを示唆していると考えられるため、正解は②。

①の「部活に入っている生徒が時間通りに到着できるよう、授業が始まる時間を遅らせるべきである」は、朝練に対して冷ややかな見方をする著者 C とは相容れない内容であり不適。③や④のようなことも著者 C は述べていない。

【ステップ2】立場を決める

問3 40 ・ 41 正解①・④ 42 正解④

「さまざまな視点を読んだので、あなたは部活動の朝練の問題について立場を決めた。あなたは以下にいくつかのメモを記した。40 - 42 を完成させるのに最も適切な選択肢を選びなさい (40 - 42 すべて正解で得点)」

あなたの立場：学校は運動部の朝練を引き続き許可すべきである。

- ・著者 40 および 41 はあなたの立場を支持する。
- ・この2人の著者の主要な論点：42。

40 と 41 の選択肢 (順序は問わない)

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は①と④。40 ・ 41 には、「あなた」の立場と合う主張をしている著者を選ぶ。「あなた」の立場は「学校は運動部の朝練を引き続き許可すべきである」ということである。したがって、基本的な立場が「賛成」である① A と④ D が正解。

著者 A の第4文 (This means less ...) ～第6文 (This helps them ...) 「これは、朝練の時間の設定を許可しない限り、各部活動の練習時間が減少することを意味します。このような練習を交代で行うことにより、各部は1週間の活動の量を増やし、練習の追加時間を得ることができます。これにより、彼らはチームとして成長し、より競争力を持つようになります」から、朝練の必要性を認識しているため、①の著者 A は「あなたの立場を支持

する」著者の1人である。また、著者Dの第4文 (If after-school and ...) と第5文 (Some students may ...) 「放課後や週末の練習が十分でない場合、部活動は学校の始業前に集まることができません。朝早くから始まることについて不平を言う生徒もいるかもしれませんが、プラス面がマイナス面を上回るため、学校はこれらの練習を許可すべきです」から、朝練の必要性を認識しているので、④の著者Dも「あなたの立場を支持する」著者の1人である。

②の著者Bは、第4文 (Although starting your ...) 「1日を早く始めること自体は悪い考えではありませんが、10代の若者にとっては、身体的及び精神的にストレスがかかります」から、朝練の必要性を認めているとは言えないので不適。③の著者Cは全体を通じ、学校が朝練を認めていることについて疑問を呈しているので不適。⑤の著者Eは、第5文 (And getting up ...) と第6文 (I wish schools ...) 「そして、いつもより早く起きて、彼が時間通りに練習に間に合うように送り出すのに大変な思いをしています。学校が親にかかる負担をもっと考えてくれるとよいのですが」から、朝練の継続を求めているとは言えないので不適。

42 の選択肢

- ① 学校が始まる前に部活動の練習を許可することで、全ての部が平等な練習時間を得ることができる
- ② 朝の運動は、午後の運動よりも身体の発達によい
- ③ 朝練は、部員同士のより親密な友情を育むのに大いに役立つ
- ④ 朝の練習の時間を設定することで、練習時間の不足を埋め合わせることができる

正解は④。42には著者Aと著者Dに共通する主要な論点として適切なものを選ぶ。

40・41の解説で示した通り、著者A、著者Dの主張を踏まえ、正解は④。

①の後半 (all clubs can ...) 「全ての部が平等な練習時間を得ることができる」という主張は著者A、著者Dのいずれもしていないので不適。②の「朝の運動は、午後の運動よりも身体の発達によい」という主張も著者A、著者Dのいずれもしていないので不適。③は、著者Aの第1文 (Athletic clubs play ...) 「運動部は、生徒の身体的及び社会的発達において大きな役割を果たしています」でやや近いことを述べているものの、これは「朝練」について述べたものではない。また、著者Dの第1文中 (school sports can ...) に「学校のスポーツは、10代の若者が高校在学中に自信を得て、友情を築くための素晴らしい方法になり得ます」とあるものの、これも特に「朝練」について述べたものではないので不適。

全訳

[ステップ3] 資料AとBを利用して概要を作成する
あなたのエッセイの概要:

朝練の実施は生徒にとってよい

序論
朝練には課題があるが、それは必要とされており、生徒にとって多くの利点があるため、学校はその継続を許可すべきである。

本論
理由1: [ステップ2から]
理由2: [資料Aを根拠に] 43
理由3: [資料Bを根拠に] 44

結論
学校での運動部の朝練の実施を認めるべきである。

資料A

10代の若者にとって、早朝の活動開始は困難である。科学研究によると、このこと背景となる主な理由は、典型的な10代の若者の自然な睡眠サイクルが午後11時頃に始まり、午前8時から9時に終わることにある。この研究結果に基づき、専門家は学校の開始時間を遅らせることを推奨しているが、これは非現実的な発想であることが証明されている。したがって、早朝の活動開始のプラス面を考慮すべきである。例えば、1日を早く始めることで、脳が学校の時間に間に合うように「目覚める」ことができ、これは成績の向上に関連している。加えて、早朝の活動開始は、精神的健康の向上と関連している。研究によると、1日を早く始める人は、不安やうつ病などの精神障害のリスクがより低い。これは、太陽光が、「天然の気分を上向かせるもの」として幸福感やモチベーションのレベルに影響を与えると考えられているためかもしれない。したがって、10代の若者にとって、早朝の学校開始は彼らの最善の利益になるかもしれない。

資料B

日本で実施された調査により、高校生の忙しい放課後のスケジュールに関するデータが提供されている。この調査では、高校1年生から3年生の2,000人を超える生徒からデータを集めた。以下の表は、後に示す意見に同意する生徒の割合を示している。

放課後のスケジュールに関する高校生の意見	
平日の放課後、私は忙しすぎると感じる。	71%
私は平日に3回以上塾に行かなければならない。	47%
平日の放課後、十分に家族との時間を過ごせない。	43%
私は平日に適切な時間に就寝できる。	24%

設問解説

問4 43 正解③

「資料Aに基づくと、理由2に最も適切なのは以下のどれか」 43

- ① 午前8時より前に学校を始めると、精神的に苦しんでいる生徒はその不調から回復できる。
- ② 成人になったときに早起きするのに苦労しないために、10代の若者は早起きの習慣を身につけるべきである。
- ③ 10代の若者にとって早起きは生物学的に困難であるが、そうすることで学業面と精神的健康面の利益が得られる。
- ④ 寝坊は10代の若者が単に好んで行っていると示す研究があるため、私たちは10代の若者が学校を早く始められると期待できる。

正解は③。朝練の継続を許可すべき理由として適切なもので、かつ資料Aの中で述べられているものが答えとなる。資料Aの第1文 (Early morning starts ...) と第2文 (Scientific studies have ...) 「10代の若者にとって、早朝の活動開始は困難である。科学研究によると、このこと背景となる主な理由は、典型的な10代の若者の自然な睡眠サイクルが午後11時頃に始まり、午前8時から9時に終わることにある」が、③の前半 (Waking up early ...) 「10代の若者にとって早起きは生物学的に困難である」と一致する。また、資料Aの第5文 (For instance, starting ...) と第6文 (Additionally, early starts ...) 「例えば、1日を早く始めることで、脳が学校の時間に間に合うように『目覚める』ことができ、これは成績の向上に関連している。加えて、早朝の活動開始は、精神的健康の向上と関連している」が、③の後半 (doing so provides ...) 「そうすることで学業面と精神的健康面の利益が得られる」と一致する。したがって、正解は③。

①のようなことは資料Aでは述べられていない。②の so that they have little difficulty

getting up early upon entering adulthood 「成人になったときに早起きするのに苦労しないために」のような将来への備えも資料Aでは述べられていないので不適。④もまったく述べられていない内容なので不適。

問5 **44** 正解③

「あなたは理由3に『朝練を最大限に活用すれば、高校生は放課後のスケジュールをより融通のきくものにできるかもしれない』と書くことに決めた。資料Bに基づくと、この意見を最も適切に支持する選択肢はどれか」 **44**

- ① 塾に通うのが平日に2回以下の生徒は60%を超えているが、約4分の3の生徒は適切な時間に眠ることができず感じている。多くの生徒は放課後の部活動に時間を使いすぎているのかもしれない。
- ② 10人中7人弱の生徒が放課後は忙しすぎると感じている。さらに約4人に1人しか十分な睡眠を取っていると報告していない。もし放課後の活動が減れば、これらの生徒を助けることになるだろう。
- ③ 10人中4人を超える生徒が、学校がある日に家族との時間が不足していると言っている。そこで放課後の部活動を減らして代わりに朝練を増やすことは、彼らが家族と一緒に過ごせる時間を増やすのに役立つかもしれない。
- ④ 70%を超える生徒が、放課後は忙しいと報告し、半数をやや上回る生徒が週に3回以上、放課後に塾通いをしている。彼らは、勉強に実際にどれだけの時間が必要であるかを認識していないかもしれない。

正解は③。③の第1文(Over four in ...)の「10人中4人を超える生徒が、学校がある日に家族との時間が不足していると言っている」は、表の3つ目の項目(I cannot spend ...)に「平日の放課後、十分に家族との時間を過ごせない——43%」とあるのと合っている。また第2文(So reducing after-school ...)の「そこで放課後の部活動を減らして代わりに朝練を増やすことは、彼らが家族と一緒に過ごせる時間を増やすのに役立つかもしれない」という主張も、理由3の「朝練を最大限に活用すれば、高校生は放課後のスケジュールをより融通のきくものにできるかもしれない」を支持するのに適切な内容である。したがって③が正解に決まる。

①については、「塾に通うのが平日に2回以下の生徒は60%を超えている」という部分が、表の2つ目の「私は平日に3回以上塾に行かなければならない——47%」と矛盾しているので、正解になれない。②は第1文冒頭のJust under seven in ten students「10人中7人弱の生徒」が表の一番上「平日の放課後、私は忙しすぎると感じる——71%」と合わないので不適。④は第1文の後半のjust over half have after-school lessons three or more times a week「半数をやや上回る生徒が週に3回以上、放課後に塾通いをしている」が表の上から2つ目「私は平日に3回以上塾に行かなければならない——47%」と合わないので不適。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ take a position 「立場を決める」

[ステップ1]

◇ athletic 図 「運動の」

◇ facility 図 「施設」

◇ take turns 「(…するのに) 交代でやる」

◇ competitive 図 「競争の激しい; 競争力の高い」

◇ from time to time 「時々」

◇ definitely 圖 「確かに; 疑いなく」

◇ distraction 図 「気を散らすもの; 目障り」

◇ concentrate 圖 「集中する」

◇ confidence 図 「自信」

◇ see O 原形 「Oが-するのが見える [-するのを経験する]」

◇ after-school 図 「放課後の」

◇ ... outweigh ~ 「…が~に勝る」

◇ keep to ... 「…に従って行動する」

◇ honestly 圖 「正直に言って」

◇ outing 図 「外出; 散歩」

◇ see ... off 「…を見送る」

[ステップ2]

◇ make a note 「メモする」

◇ argument 図 「主張」

[ステップ3]

◇ primary 圖 「主な」

◇ impractical 圖 「実際的でない」

◇ additionally 圖 「加えて」

◇ depression 図 「憂うつ; うつ病」

◇ mood 図 「気分」